



鹿児島県立鹿児島中央高等学校

SSHニュース

第42号

SSH
Super Science High School



SSH指定第Ⅱ期2年目始まる！

鹿児島中央高校は平成30年度に文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定され、探究的な活動を中心とした取組を行っています。昨年度から第Ⅱ期が始まり、「協働的な活動の中で主体的な役割を担い、科学的な思考によりさまざまな課題を解決できる術を身に付けること」を目標に活動しています。

今年度も、3年生が最終報告会（7月9日）に向けて準備を進めています。そして2年生は課題研究が本格的に始まりました。

昨年度も本校生は多くの発表会に参加しました。その中で生徒たちは数多くの経験をし、多くの賞を受賞することができました。他にも様々な場面で参加・発表した生徒の栄誉を称え、4月25日に行われたSSH科学講演会時に全校生徒に紹介しました。



▲ 令和6年度に外部で発表等を行った生徒の紹介

特に1, 2年生は、先輩方に続いて積極的に外部で発表することにチャレンジしましょう。どの時期にどのような発表があるか知りたい人は是非SSH推進室へ来てください。

今年度の主な予定

- 7月 SSH課題研究最終報告会（全学年）
SSH学年間交流会（1・2年生）
- 8月 SSH学年間交流会（2・3年生）
- 9月 SSH学年間交流会（1・3年生）
- 11月 SSH課題研究中間報告会（全学年）
- 12月 SSH交流フェスタ（2年生）
- 1月 探究テーマ審査会（1年生）

SSH科学講演会

4月25日に鹿児島大学から理工学域理学系教授の小山佳一先生をお招きし、SSH科学講演会が行われました。中でも「自分が運が良いと思うとそれが行動や結果につながる」というお話が印象的でした。



▲ 小山佳一教授によるSSH科学講演会の様子

鹿児島大学法文学部との連携協定

3月17日、鹿児島大学法文学部と鹿児島中央高等学校は、高大接続及び課題研究に関する連携協定を締結しました。今回の締結は理学部に次いで二例目になります。この協定によって課題研究への講師派遣・助言・情報提供・講座の提供や高大接続への協力を鹿児島大学からいただけます。それによって本校の課題研究がより充実したものになることが期待されます。



▲ 協定書締結式の様子

（左：野村義文本校校長，右：藤内哲也法文学部長）

発行：SSH推進部広報係
2025年5月発行